



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 株式会社G S I クレオス 上場取引所 東
コード番号 8101 URL <https://www.gsi.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 吉永 直明
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 小野 国広 TEL 03-5418-2122
四半期報告書提出予定日 2023年2月9日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	101,813	23.1	1,745	0.6	1,897	9.7	1,316	0.0
2022年3月期第3四半期	82,705	—	1,736	△47.4	1,729	△47.1	1,316	△26.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,218百万円 (5.3%) 2022年3月期第3四半期 2,107百万円 (△55.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	107.36	—
2022年3月期第3四半期	106.62	—

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。上記の2022年3月期第3四半期は当該会計基準等を適用した後の数値となっており、2022年3月期第3四半期の売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	73,664	25,941	35.2
2022年3月期	60,929	24,512	40.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 25,941百万円 2022年3月期 24,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	16.2	2,400	19.5	2,400	27.5	1,700	3.8	138.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	12,629,942株	2022年3月期	12,629,942株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	367,379株	2022年3月期	373,684株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	12,260,060株	2022年3月期3Q	12,345,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. (参考) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気を持ち直しの動きが見られたものの、原材料価格の高騰や円安などにより物価上昇圧力が強まり、企業活動に影響を及ぼしました。世界経済におきましても、欧米州を中心に緩やかな回復基調にありましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、エネルギー価格の高騰、各国の金融引き締め策や、中国ロックダウンに起因する世界的なサプライチェーンの混乱などにより、先行き不透明な状況が続きました。

こうした中、当社は、パーパス「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」のもと、グループが一体となり、国内外でサステナブル事業分野を中心とする高付加価値事業の展開に注力し、収益の確保と向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同期比19,108百万円、23.1%増収の101,813百万円となり、売上総利益は、前年同期比782百万円、8.0%増益の10,564百万円となりました。また、営業利益は、前年同期比9百万円、0.6%増益の1,745百万円、経常利益は、前年同期比167百万円、9.7%増益の1,897百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,316百万円（前年同期1,316百万円、前年同期比0.0%増益）となりました。

②セグメント別の状況

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より報告セグメント等の変更を行っており、以下の前年同四半期連結累計期間比較につきましては、前年同四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<ファイバー>

アジアにおけるインナー用機能糸・生地取引が回復基調となり、加えて為替変動により同取引の海外売上高が増加したことなどから、売上高は前年同期比25.6%増収の54,684百万円となり、営業利益は前年同期比106.6%増益の277百万円となりました。

<アウター>

製品のOEM・ODM取引や欧米アパレル向け生地輸出取引が個人消費の持ち直しを背景に増加したことから、売上高は前年同期比40.8%増収の13,032百万円となり、営業利益は前年同期比93.3%増益の576百万円となりました。

<インナー>

売上高は8,840百万円となり、前年同期比で7.8%の増収となったものの、利益面では、原材料価格の高騰や円安の影響を吸収しきれず、255百万円の営業損失（前年同期は152百万円の営業利益）となりました。

<セミコンダクター>

半導体関連部材の取引は、製造装置用部材向け原料や中国製ウエハなどの需要を取り込み伸長しました。また、前期に連結子会社化したGSI Creos Technology (China) Co., Ltd.も業績に寄与したことから、売上高は前年同期比48.6%増収の9,040百万円となり、営業利益は前年同期比78.9%増益の731百万円となりました。

<ケミカル>

機能性樹脂・フィルムの取引が国内の需要増を背景に伸長し、塗料原料の取引が海外の需要を取り込み堅調に推移したことから、売上高は前年同期比9.7%増収の8,863百万円となり、営業利益は前年同期比6.3%増益の437百万円となりました。

<ホビー&ライフ>

ホビー関連の取引が、国内においては新製品の販売が始まり当第3四半期連結会計期間より回復に転じたものの、中国ロックダウンに伴う受注減などの上半期の下振れをカバーできず、売上高は前年同期比9.5%減収の3,960百万円となり、営業利益は前年同期比17.7%減益の497百万円となりました。

<マシナリー&イクイップメント>

複合材関連の機械および部品の取引が増加したことから、売上高は前年同期比6.6%増収の3,391百万円となりましたが、利益面では、主に理化学機器の取引において円安による仕入価格の高騰を受け、営業利益は前年同期比98.7%減益の1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、売上債権の増加などにより、前期末比12,734百万円増加の73,664百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比11,306百万円増加の47,723百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比1,428百万円増加の25,941百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,078	7,254
受取手形	1,649	1,885
電子記録債権	1,989	2,823
売掛金	24,703	36,603
商品及び製品	8,960	8,983
仕掛品	677	973
原材料	121	234
その他	2,960	2,940
貸倒引当金	△175	△203
流動資産合計	48,963	61,493
固定資産		
有形固定資産	3,659	3,917
無形固定資産	736	689
投資その他の資産		
投資有価証券	5,716	5,391
その他	1,853	2,171
投資その他の資産合計	7,570	7,563
固定資産合計	11,965	12,170
資産合計	60,929	73,664
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,514	28,138
短期借入金	10,919	12,448
1年内返済予定の長期借入金	90	95
未払法人税等	123	122
引当金	512	353
その他	4,078	4,345
流動負債合計	34,239	45,504
固定負債		
長期借入金	1,236	1,175
退職給付に係る負債	76	85
その他	864	958
固定負債合計	2,177	2,219
負債合計	36,416	47,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	855	857
利益剰余金	14,405	14,924
自己株式	△291	△287
株主資本合計	22,154	22,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,926	1,633
繰延ヘッジ損益	17	△60
為替換算調整勘定	295	1,588
退職給付に係る調整累計額	119	98
その他の包括利益累計額合計	2,358	3,260
純資産合計	24,512	25,941
負債純資産合計	60,929	73,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	82,705	101,813
売上原価	72,923	91,249
売上総利益	9,781	10,564
販売費及び一般管理費	8,045	8,818
営業利益	1,736	1,745
営業外収益		
受取利息	42	31
受取配当金	61	74
持分法による投資利益	15	221
その他	73	160
営業外収益合計	193	487
営業外費用		
支払利息	97	127
為替差損	63	126
持分法による投資損失	15	50
その他	23	31
営業外費用合計	200	335
経常利益	1,729	1,897
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	53	-
出資金売却益	45	-
特別利益合計	99	-
特別損失		
固定資産除却損	2	1
投資有価証券評価損	15	-
関係会社株式売却損	27	-
本社移転費用	-	38
特別損失合計	46	40
税金等調整前四半期純利益	1,783	1,856
法人税、住民税及び事業税	525	478
法人税等調整額	△57	61
法人税等合計	467	540
四半期純利益	1,316	1,316
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,316	1,316

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,316	1,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	398	△293
繰延ヘッジ損益	4	△77
為替換算調整勘定	398	1,293
退職給付に係る調整額	△10	△21
その他の包括利益合計	790	901
四半期包括利益	2,107	2,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,107	2,218

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税ならびに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコンダ クター	ケミカル	ホビー& ライフ	マシナリー &イクイッ プメント	計		
売上高										
外部顧客への売上高	43,531	9,254	8,200	6,085	8,078	4,374	3,180	82,705	-	82,705
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	0	-	-	6	6	-	13	△13	-
計	43,531	9,255	8,200	6,085	8,084	4,381	3,180	82,718	△13	82,705
セグメント損益	134	298	152	409	411	604	113	2,124	△388	1,736

(注) 1 セグメント損益の調整額△388百万円には、セグメント間取引消去101百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△489百万円が含まれております。

2 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、「ホビー&ライフ」を構成していた大三紙化工業株式会社の当社持分の85%を譲渡し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ホビー&ライフ」のセグメント資産が1,203百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「セミコンダクター」において、第2四半期連結会計期間よりGSI Creos Technology (China) Co., Ltd. の連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては435百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコンダ クター	ケミカル	ホビー& ライフ	マシナリー &イクイッ プメント	計		
売上高										
外部顧客への売上高	54,684	13,032	8,840	9,040	8,863	3,960	3,391	101,813	—	101,813
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	10	—	23	0	9	22	48	113	△113	—
計	54,694	13,032	8,863	9,040	8,872	3,983	3,439	101,927	△113	101,813
セグメント損益	277	576	△255	731	437	497	1	2,267	△521	1,745

(注) 1 セグメント損益の調整額△521百万円には、セグメント間取引消去82百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△604百万円が含まれております。

2 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来の「繊維関連事業」を「ファイバー」「アウター」「インナー」に分割し、「工業製品関連事業」を「セミコンダクター」「ケミカル」「ホビー&ライフ」「マシナリー&イクイップメント」に分割することで、第1四半期連結会計期間より2区分から7区分の報告セグメントに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法にもとづき作成したものを記載しております。

3. (参考) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高	41,460	6,797	2,626	50,884
II 連結売上高				82,705
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	50.1	8.2	3.2	61.5

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高	53,592	8,742	3,597	65,933
II 連結売上高				101,813
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	52.6	8.6	3.5	64.8

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

アジア・・・・・・中国、香港

米州・・・・・・アメリカ、ブラジル

その他・・・・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。